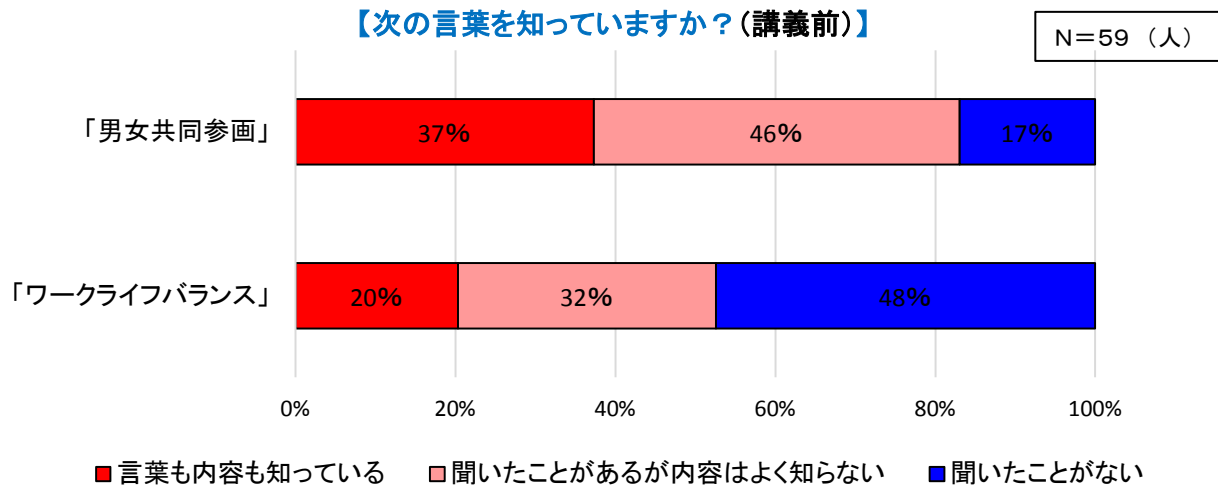


<平成29年度 医と社会Ⅲ学生キャリア講習会 講義前後アンケート結果>

【次の言葉を知っていますか？(講義前)】

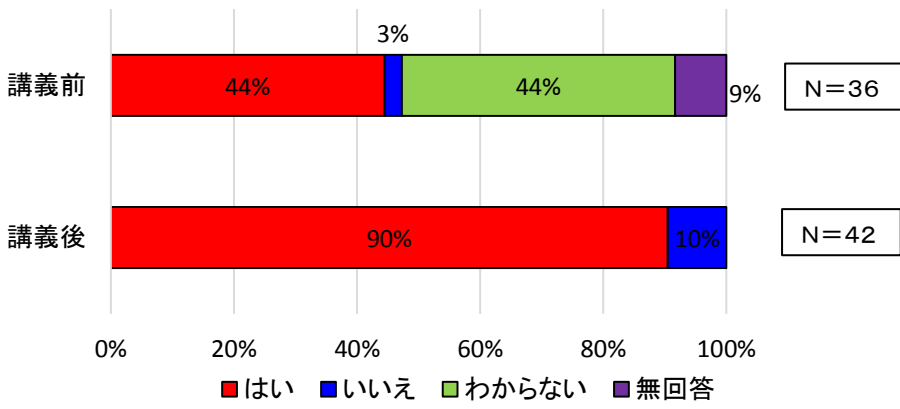


●平成29年度の受講予定者112名のうち、男子学生は78名、女子学生は34名(女子学生率30%)でした。しかし、実際の出席率は男子学生78%、女子学生82%です。これまで3年生を対象に実施した平成26~28年度の講義出席率は90%強となっており、**今年度は欠席者が非常に多く残念でした。**

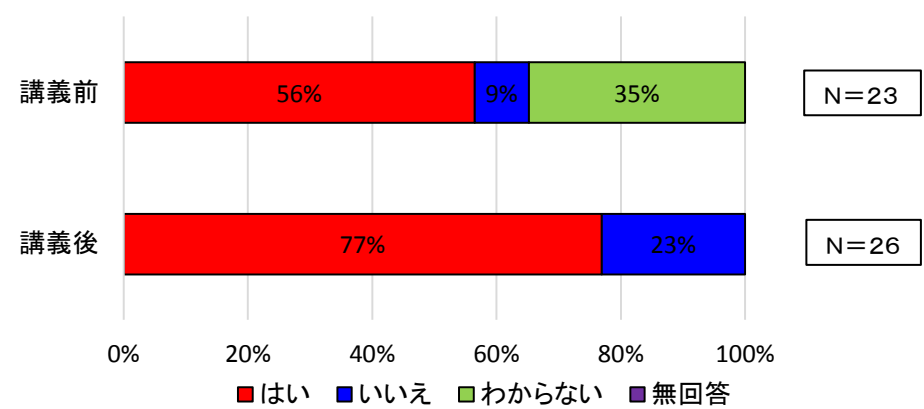
平成29年度を含めこれまで行った全4回の講義の中で、「男女共同参画」の言葉も内容も知っている割合は平成29年度37%、平成28年度35%、平成27年度53%、平成26年度50%となっており、平成28年度よりは上回ったものの、**内容まで理解している学生は少ない**という結果が出ました。「ワークライフバランス」の言葉も内容も知っている割合は、平成28年度の13%を除いても、毎年20%前後にとどまっています。「男女共同参画」と比較しても、まだ学生には浸透していないため、講義の必要性を感じました。

●現時点での将来の不安については、講義の前後で、不安がある割合が減り、不安がない割合が増える結果は、4回とも同じでした。講義後に、講義前と比べて不安が減った・無くなったと答えた割合は45%でした。将来に対する不安の内容としては、一番多かったのが「診療科の選択」(18%)でした。次に「勤務地」(17%)、「仕事と生活の両立」(17%)と続きました。

【自分も育休を取ってみたいですか？(男子のみ)】



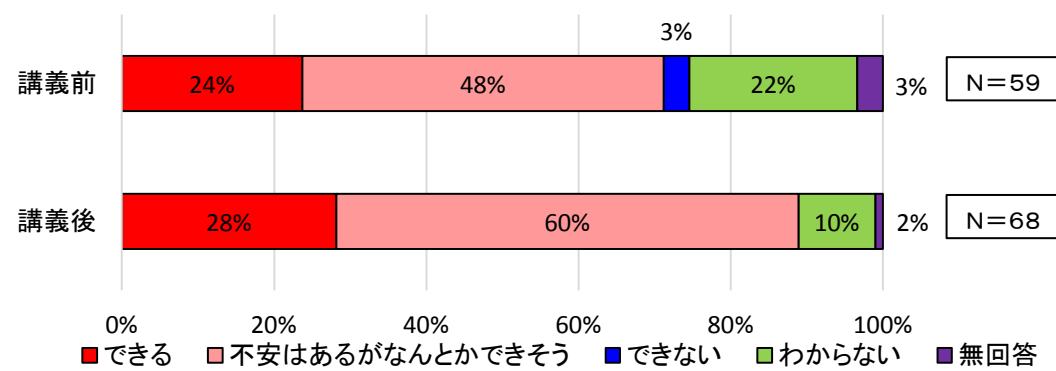
【パートナーに育休を取ってもらいたいですか？(女子のみ)】



●「産休」「育休」の言葉は90%以上の認知度があり、男性も育休を取れることを知っている割合は85%でした。**自分も育休を取ってみたい男子学生の割合は、講義前後ともに、これまでの4回の講義の中で一番多い結果となりました。**

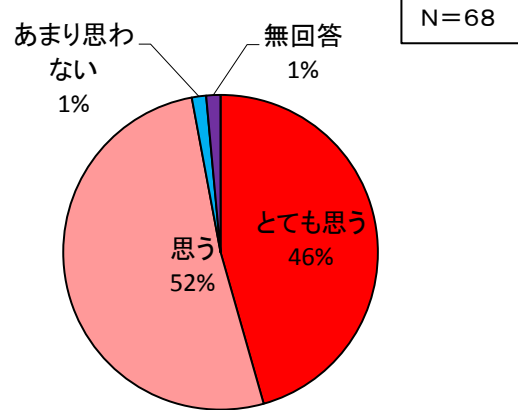
●将来の進路を決定するときに重視するもの(3つまで選択)のランキングでは、1位は講義前後ともに「仕事の内容」、2位は講義前「雰囲気の良い科」、講義後は同率で「雰囲気の良い科」「やりがい」となりました。これまで行った4回の講義において、講義前後ともに2位で不動だった「やりがい」が講義前は7位という結果でした。3位から5位は講義前後で変動し「尊敬できる指導教員や指導医がいる」、「自分の特性」、「収入」が挙がりました。

【医師や研究者になって結婚・子育てするようになった場合、仕事と生活を両立できると感じますか？】

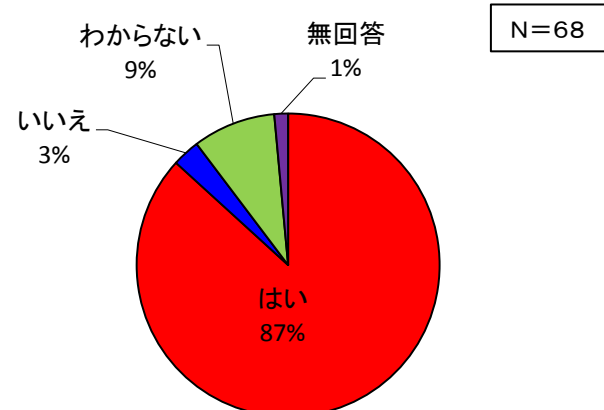


●生活と仕事の両立については、**講義前→後で「できる」24%→28%へ、「なんとかできそう」48%→60%へと増加して、両立への自信は80%以上になりました。**「できない」「わからない」の割合はいずれも講義後に減少しているため、講義の意義があったと感じました。

【ワークライフバランスの考え方は重要だと思いますか？(講義後)】



【今日の講義は将来役に立ちそうですか？(講義後)】



●学生からは以下のような感想がありました。
 ・とても興味深かったです。研究と多くの科への選択肢が増えたように感じます。(男性)
 ・研究をずっとされている女性医師の先生のお話が聞いて良かったです。出産・育児を優先するならば研究という道も選択肢にのこします。(女性)
 ・医師になったときの生活がより現実味をもって伝わってきたので、自分が働き出したときの参考になった。(男性)
 ・いろいろな選択肢があることがわかりました。ありがとうございました。(女性)
 ・私も将来医者同士で結婚したときの子どもの育て方に不安を持っていたが、今回の講義でその不安が少し解消された。(男性)